

## 平成28年度 臨床検査学ユニット研究活動状況

## A. 構成メンバー

若山育郎, 市村輝義, 花井 淳, 近藤 弘,  
後藤きよみ, 鍵弥朋子, 竹田知広,  
大瀧博文, 荒川裕也, 上北宏美

## B. 研究活動の概要

以下の各テーマに沿って、個人およびグループ研究（学外との共同研究含む）を行った。

## &lt;若山育郎&gt;

- ・全日本鍼灸学会学術大会の発表論文の出版バイアスに関する研究  
全日本鍼灸学会学術大会で発表された論文がその後どの程度実際に雑誌等に掲載されているかを調査した。
- ・鍼灸臨床研究の質に関する調査研究  
全日本鍼灸学会学術大会で発表された臨床研究論文の質について調査した。

## &lt;市村輝義&gt;

- ・認知症（予防）の診断と臨床検査に関する研究と啓蒙  
認定認知症領域検査技師制度（認知症予防学会、日本臨床衛生検査技師会共催）の認定  
試験ワーキンググループ委員長および認定認知症領域検査技師講習会委員長として企画運営をし、その啓蒙をした。
- ・日本臨床衛生検査技師会（日臨技）の認定センター認定制度協議会委員として臨床検査学技師の生涯教育に助力した。
- ・認知症診断のための臨床検査（アミロイドβ、リン酸化タウ、頸動脈エコー、光トポグラフィーなど）の有効性について確認し、その教育をした。
- ・共著「認知症予防のための検査」の原稿を執筆中（2017年6月出版予定）である。

## &lt;花井 淳&gt;

- ・総合病院における病理診断困難例の病理組織学的検索（免疫染色など）  
稀有症例においては学会発表を実施した。

## &lt;近藤 弘&gt;

- ・血液学的検査の標準化に関する研究  
血小板数、網赤血球比率、白血球分類の免疫学的国際常用基準測定操作法の改良・開発に向けて検討を行い報告した。
- ・臨床検査の外部精度評価（EQA）に関する研究  
全国規模のEQA結果を解析し、その結果をもとに今後の改善に向けて考察した。
- ・自動血球分析装置の臨床的性能評価に関する研究  
最新の自動血球分析装置の基礎的・臨床的検討を行い、有用性を評価した。

## &lt;後藤きよみ&gt;

- ・超音波診断装置を用いた検査の基礎的応用
- ・筋膜や筋肉組織の進展、硬度評価に関する研究

## &lt;鍵弥朋子&gt;

- ・胃摘出が腸上皮に与える影響についての研究
- ・副甲状腺関連遺伝子 psp についての研究

## &lt;竹田知広&gt;

- ・血友病インヒビター新規免疫寛容療法の研究（奈良県立医科大学小児科との共同研究）
- ・喘息の病態と血小板についての研究  
（国立成育医療研究センター研究所 免疫・アレルギー研究部との共同研究）
- ・IgE産生機構の解明（八尾市立病院 小児科との共同研究）

## &lt;大瀧博文&gt;

- ・臨床微生物検査に有用な細菌の簡易同定法の確立
- ・菌血症の原因となった大腸菌における細胞膨化致死毒素を中心とした分子疫学解析  
（大阪府立大学、岐阜大学との共同研究）

## &lt;荒川 裕也&gt;

- ・自己免疫性甲状腺疾患（AITD）におけるメチル化関連遺伝子の遺伝子多型と特異的部位におけるメチル化との関連（大阪大学医学系研究科 予防診断学研究室と共同研究）  
検体の収集及び前処理を昨年度より継続して行っている。
- ・ALS多発地域における健康診断検体を用いた新規検査

マーカーの検索

酸化ストレスマーカー SOD1 の測定及び, SOD1 活性の違いによる血清中 miRNA の発現解析を行った。また, 低 Zn 摂取マウスの飼育を開始した。

<上北 宏美>

・新規 Adiponectin 結合蛋白質の機能解析

## C. 研究業績

<著書>

大瀧博文 (共著者), JAMT 技術教本シリーズ 臨床微生物検査技術教本. 丸善出版, 2017 年 3 月

<原著>

若山育郎. 関西レポート (150) 漢方プラスター. 和漢薬, 762; 1, 2016

後藤修司, 形井秀一, 若山育郎. 特集 I 座談会 WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 開催に向けて. 鍼灸 OSAKA, 31 (4) : 6-23, 2016

若山育郎. 特集 II WFAS30 周年に向けて 黒須幸男先生インタビュー. 鍼灸 OSAKA, 31 (4) : 25-29, 2016

石崎直人, 斉藤宗則, 深澤洋滋, 増山祥子, 若山育郎. 特集 III WFAS Tronto 2015 - 学術から周辺情報まで -. 鍼灸 OSAKA, 31 (4) : 31-41, 2016

若山育郎. WFAS2016 だより第 3 回 世界鍼灸学会連合会 (WFAS) の沿革. 医道の日本, 75 (4) : 162-163, 2016

若山育郎. 特集 II WFAS30 周年に向けて WFAS と WHO/WPRO 津谷喜一郎先生インタビュー. 鍼灸 OSAKA, 32 (2) : 93-100, 2016

若山育郎. WFAS2016 だより第 10 回 WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 いよいよ開幕. 医道の日本, 75 (11) : 154, 2016

若山育郎, 石崎直人, 斉藤宗則ら. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 参加報告. 全日本鍼灸学会雑誌, 67 (1) : 4-14, 2017

近藤 弘, 永井 豊, 小川恵津子, 寺社下悠木, 山本茂子, 川合陽子. フローサイトメトリーによる白血球分類のための日本検査血液学会参照法の検討. 日検血会誌, 17: 169-181, 2016

Kawai Y, Nagai Y, Ogawa E, Kondo H. Japanese Society for Laboratory Hematology flow cytometric method of determining the differential leukocyte count: external quality assurance using fresh blood samples. Int. Jnl. Lab. Hem., 2017 (in press)

Sugiyama M, Kobayashi T, Jisyage Y, Yamamoto S, Nagai Y, Kondo H. Performance evaluation of Celltac G: a new automated hematology analyzer. Int. Anal. Bio-Sci., 2017 (in press)

Ando T, Ito H, Ohtaki H, Kanbe A, Hirata A, Hara A, Seishima M. Role of invariant NKT cells in lipopolysaccharide-induced lethal shock during encephalomyocarditis virus infection. Immunobiology, 222: 350-357, 2017

Arakawa Y, Watanabe M, Takemura K, Inoue N, Hidaka Y, Iwatani Y. The IL15 +96522 A>T functional polymorphism is related to the differentiation of Th17 cells and the severity of Hashimoto's disease. Int J Immunogenet. 2017 (in press)

Saeki M, Watanabe M, Inoue N, Tokiyoshi E, Takuse Y, Arakawa Y, Hidaka Y, Iwatani Y. DICER and DROSHA gene expression and polymorphisms in autoimmune thyroid diseases. Autoimmunity. 49 (8) : 514-522, 2016

Niinaga R, Yamamoto H, Yoshii M, Uekita H, Yamane N, Kochi I, Matsumoto A, Matsuoka T, and Kihara S. Marked elevation of serum M2BP-adiponectin complex in men with coronary artery disease. Atherosclerosis. 253: 70-74, 2016

<総説>

近藤 弘. 自動血球計数機の測定値には機種間差があると聞きましたが, その実態を教えてください. 臨床検査, 60 : 680-683, 2016

近藤 弘. フローサイトメトリーによる血小板数参照法. 臨床検査, 60 : 1404-1409, 2016

近藤 弘, 竹田知広, 永井 豊, 川合陽子. 血小板計測のポイントと血小板異常症の診断ワークフロー. 臨床検査, 61 : 110-115, 2017

松田明生, 竹田知広. 血小板・血管内皮細胞とIL-33. The functional role of platelet-derived IL-33 in airway inflammation and vascular endothelial cells. 臨床免疫・アレルギー科, 65 (3) : 208-213, 2016

竹田知広, 松本健治. 特集 アレルギーとインターロイキン 最近の進歩 VII. IL-33とアレルギー. アレルギー・免疫, 23 (11) : 1520-1528, 2016

#### <学会発表・学術講演>

若山育郎. シンポジウム7「鍼灸の復権」鍼灸の今後のあり方をさぐる, 第67回日本東洋医学会総会, 高松, 2016年6月

Wakayama I, Ishizaki N, Saito M, et al. Analysis of Abstracts Submitted to WFAS Tokyo/Tsukuba 2016. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016. Tsukuba, Japan. 2016.11

Shikura T, Tomura T, Wakayama I. Analysis of Publication Bias of Clinical Trials presented at the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016. Tsukuba, Japan. 2016.11

花井 淳, 小嶋啓子. LIP, 肺結節性 amyloidosis を合併したシェーグレン症候群の1剖検例. 第105回日本病理学会総会. 仙台. 2016年5月

Kondo H, Takahira I, Ikeda H, Kondo T, Sirakami A, Nagai Y, Kawai Y. Improvement of procedure for stirring and dispensing to prepare anti-coagulated fresh blood samples for external quality assessment of automated hematology analyzer. The XXIXth International Symposium on Technological Innovations in Laboratory Hematology, Milano, Italy, 2016.5

Muraoka N, Iemata S, Imai J, Kamimura Y, Kondo H. Validation of inter-laboratory correlation using clinical specimens. The 32nd World Congress of Biomedical

Laboratory Science, Kobe, Japan, 2016.9

Kondo H. Whole Blood for Hematology Quality Control Material -Standardization and External Quality Assessment using Anti-coagulated Fresh Blood for Automated Hematology Analyzers-. The 8th Ikatan Laboratorium Kesehatan Indonesia national meeting and seminar on quality assurance 2016, Surabaya, Indonesia, 2016.8

Kondo H. Application of advanced metachromatic nucleic acid staining technique to automated blood cell counter. Arab Health 2017, Dubai, UAE, 2017.1

Kondo H. Global trend of standardization and quality control in hematology. Arab Health 2017, Dubai, UAE, 2017.1

Kondo H. Reproducibility, carry over and correlation with eye count when using a hematology analyzer. Arab Health 2017, Dubai, UAE, 2017.1

後藤きよみ. 本学における生理機能検査学教育の取り組み. 第11回日本臨床検査学教育学会学術大会, 神戸, 2016年9月

大瀧博文. ゼロからの塗抹鏡検. 大阪府臨床検査技師会微生物部門 基礎講習会, 大阪, 2016年6月

大瀧博文. 誰でも、どこでも出来る！微生物培養・同定検査の効率化に向けた工夫.

第2回和歌山県臨床検査技師会微生物班研修会, 和歌山, 2016年7月

大瀧博文. 微生物検査報告書の作成～より良い報告をするために～ (培養・同定検査), 第65回日本医学検査学会 (行列ができるスキルアップ研修会), 神戸, 2016年9月

大瀧博文, 中山麻美, 太田浩敏, 口広智一, 大楠清文. クロモアガーオリエンタシオン寒天培地を用いた腸内細菌科細菌の簡易同定法の迅速化に関する検討, 第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2017年1月

荒川裕也, 渡邊幹夫, 武村和哉, 井上直哉, 岩谷良則.

橋本病の重症度に及ぼす, Th17 細胞の増殖を介した IL-15 の影響, 第56回日本臨床化学会, 熊本, 2016年12月

荒川裕也, 伊藤俊治, 岩井恵子, 吉田宗平, 紀平為子, 河本純子, 廣西昌也, 岡本和士, 小久保康. 紀伊半島南部地域における ALS 多発関連要因の検討. 日本医療研究開発機構研究費(難治性疾患実用化研究事業)紀伊 ALS/PDC 診療ガイドラインの作製と臨床研究の推進班平成28年度班会議, 愛知, 2017年1月

河内一恋, 山本浩靖, 上北宏美, 下村伊一郎, 木原進士. 細胞接着に関わる新規アディポネクチン結合蛋白質 E-selectin ligand-1 の同定. 第63回日本臨床検査医学会, 神戸, 2016年9月

二位永竜, 山本浩靖, 上北宏美, 松岡哲郎, 木原進士. 新規アディポネクチン結合蛋白質の同定とその作用. 第63回日本臨床検査医学会, 神戸, 2016年9月

#### <研究費獲得状況>

近藤 弘. 日本光電工業 受託研究「血液検査分析値の正確度評価に関する研究」2016年度

鍵弥朋子. 科学研究費補助金 基盤研究 (C)「多発性嚢胞腎と男性不妊を合併する新規副甲状腺関連遺伝子 KANSL1-L の解析」2016年度～2018年度

荒川裕也. 科学研究費補助金 若手研究 (B)「DNMT1 と Treg/Th17 関連遺伝子の解析-新規バセドウ病病態鑑別法の確立-」2016年度～2018年度

#### <その他>

若山育郎. 認知症. (公社)岡山県鍼灸師会研修会 平成28年度第1回研修会, 岡山, 2016年9月

若山育郎. 四逆散と柴胡桂枝湯. 京都漢方研究会, 京都, 2017年2月

大瀧博文. 検査の実体験(グラム染色). 第1回大臨技医学検査学会, 大阪, 2017年2月

#### D. 社会活動・その他

市村輝義. 認知症とその予防の基礎知識. 一般社団法人

奈良県健康生きがいつくり協議会 認知症予防講座, 奈良, 2017年3月

市村輝義. 認知症の方のこころとケア. 一般社団法人奈良県健康生きがいつくり協議会 認知症予防講座, 奈良, 2017年3月

花井 淳. 日野原先生著「生き方上手」読後感想(病理学的見地からの解説), Life Oasis Club (LOC) 講演会, 大阪, 2016年6月

近藤 弘. 臨床検査と平成27年度臨床検査精度管理調査結果. 全国労働衛生団体連合会平成27年度検体検査研修会, 東京, 2016年7月

近藤 弘. V. 各論的考察2. 血液学検査. (公社)全国労働衛生団体連合会総合精度管理委員会臨床検査専門委員会(編), 平成27年度(第24回)臨床検査精度管理調査結果報告書, 37-40, 2016

大瀧博文. 大阪府臨床検査技師会微生物検査部門 実技講習会(実務委員), 2016年7月

荒川裕也. 日本臨床化学会 若手奨励賞(YIA), 2016年12月